▼シンビット静注用　［注］

【重要度】★★　【一般製剤名】ニフェカラント塩酸塩　Nifekalant Hydrochloride　【分類】不整脈治療剤［III 群］
【単位】▼50mg/瓶
【常用量】■単回：0.3mg/kg を ECG 監視下で 5 分かけて静注■維持：ECG 監視下で 0.4mg/kg/hr
【用法】生食，ブドウ糖で溶解
【透析患者への投与方法】慎重投与（1）負荷量 0.1mg/kg，維持量 0.15～0.2mg/kg/hr を使用（Myoishi M, et al: Circ J 2003 PMID: 14578629）
開胸 AVR の持続性 VT に 0.4mg/kg/hr で開始し，0.24mg/kg/hr で 11 時間後まで持続した HD 症例（Furukawa H, et al: Kyobu Geka 2010 PMID: 20954355）
【保存期 CKD 患者への投与方法】慎重投与（1）
【特徴】クラス III の抗不整脈薬で選択的な K チャネル遮断作用により効果を発揮する．他の抗不整脈薬が無効又は使用できない生命に危険のある心室性不整脈（心室頻拍、心室細動）に有効性を示す．リエントリーに有効で Vf 時の DC への反応性が向上．心機能の抑制作用がない．
【主な副作用･毒性】催不整脈（心室頻拍，心室細動等），QT 延長注意など
【モニターすべき項目】ECG，血清電解質
【代謝】UDP-グルクロン酸転移酵素が主に関与．他に CYP3A4，2D6，1A1 などが関与（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率 27.8～36.6%［24hr まで］(1)【CL】0.85±0.09L/hr/kg (1) 53.8L/hr (Jiang J, et al: J Pharmacokinet Pharmacodyn 2024 PMID: 37566244)
【t1/2】1.53±0.23hr（1）【Kel】6.6±0.8/hr（1）
【蛋白結合率】86.4～94.6%（1）
【Vd】0.13±0.01L/kg（1）Vc=8.27 L，Vp=45.6 L（Jiang J, et al: J Pharmacokinet Pharmacodyn 2024 PMID: 37566244）
【MW】441.91
【透析性】蛋白結合率が高いため，透析されにくいと思われる（5）除去されない（Myoishi M, et al: Circ J 2003 PMID: 14578629）
【TDM のポイント】有効治療域～0.5μg/mL
PPK 解析により EC50=342 ng/mL（Jiang J, et al: J Pharmacokinet Pharmacodyn 2024 PMID: 37566244）
【O/W 係数】8.44［クロロホルム/水系，pH 6.0］(1)
【更新日】20240717

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。